

総会プログラム

第1日 7月2日（金）

9:25 開会の辞 吉田貴彦（旭川医科大学医学部健康科学講座）

9:30-11:10 ワークショップ 1

9:30-10:30 座長 平 久美子（東京女子医科大学附属第二病院麻酔科）

W1-1 メチレンジフェニルイソシアネート暴露による化学物質過敏症の発症が疑われた3例
○中村 陽一¹⁾、真鍋 亜希子¹⁾、竹林 優¹⁾、小倉 英郎¹⁾、坂井 公²⁾、森田 陽子²⁾、
西中川 秀太³⁾
1) 独立行政法人国立病院機構高知病院臨床研究部、2) 東京労災病院産業中毒センター
3) 東京労災病院環境医学研究センター

W1-2 防虫剤により甲状腺機能低下症をきたしたと思われる4症例
○森田裕司^{もりたひろし}
和歌山県古座川町国保明神診療所

W1-3 トルエンによるシックスクール発生例と医学的検証
○笹川征雄^{ささがわ ゆきお}¹⁾、藁島宗夫²⁾、大谷 剛^{こう}³⁾、上原裕之⁴⁾、白瀬哲夫⁴⁾、近藤之彦⁴⁾
1) 笹川皮フ科、2) みのしまクリニック、3) 帝塚山大学心理福祉学部非常勤講師、
4) NPO 法人シックハウスを考える会

W1-4 当院におけるシックハウス症候群及び多種化学物質過敏症の臨床的特徴についての検討
○西中川秀太^{にしなかがわしゅうた} 横沢册子^{よこざわしほこ} 河口友香^{くわがうともか} 吉田友彦^{よしかともひこ} 永田直一¹⁾ 尾島正幸^{おししままさゆき} 石川哲²⁾
1) 東京労災病院環境医学研究センター、2) 北里研究所病院

W1-5 化学物質過敏症と考えられる572例の臨床的検討
○渡辺一彦^{わたなべかずひこ}
渡辺一彦小児科医院

W1-6 アレルギー外来からみたシックハウス症候群及び化学物質過敏症
○池田浩己^{いけだひろき}¹⁾ ²⁾、中澤浩子^{なかせひろこ}²⁾、圓藤陽子^{のりふゆき}³⁾、榎本雅夫¹⁾、山下敏夫²⁾
1) 日本赤十字社和歌山医療センター耳鼻いんこう科、2) 関西医科大学 耳鼻咽喉科
3) 東京労災病院 産業中毒センター

10:30-11:10 座長 渡辺一彦（渡辺一彦小児科医院）

W1-7 当院の就労者を対象とした化学物質過敏性についてのアンケート調査
○横沢册子^{よこざわしほこ}¹⁾、河口友香^{くわがうともか}¹⁾、西中川秀太^{にしなかがわしゅうた}¹⁾、吉田友彦^{よしかともひこ}¹⁾、永田直一¹⁾、石川哲²⁾
1) 東京労災病院 環境医学研究センター、2) 北里研究所病院

W1-8 シックハウス症候群の臨床分類の試み

○石橋美生¹⁾、遠乗秀樹¹⁾、尾島正幸²⁾、遠乗陽子¹⁾、坂部貢²⁾、宮田幹夫²⁾、石川 哲²⁾、
角田正史¹⁾、相澤好治¹⁾

1) 北里大学医学部衛生学公衆衛生学、2) 北里研究所病院臨床環境医学センター

W1-9 シックハウスにおける室内空気汚染の実態と発症要因に関する検討

○祢津紘司¹⁾、吉野 博¹⁾、石川 哲²⁾、池田耕一³⁾、野崎淳夫⁴⁾、角田和彦⁵⁾、武田 篤⁶⁾、
北條祥子⁷⁾、天野健太郎¹⁾、松本麻里¹⁾

1) 東北大学大学院工学研究科、2) 北里研究所病院臨床環境医学センター、
3) 国立保健医療科学院建築衛生部、4) 東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科、
5) 坂総合病院小児アレルギー科、6) 東北大学医学系研究科、7) 尚絅学院大学生生活創造学科

W1-10 プース検査室の性能評価（北里研究所病院におけるケーススタディ）

○藤間義人¹⁾、江口智則¹⁾、佐藤茂弥¹⁾、光崎純¹⁾、中井里史¹⁾、松井孝子²⁾、坂部貢²⁾、
宮田幹夫²⁾、石川 哲²⁾

1) 横浜国立大学大学院環境情報学府環境マネジメント専攻
2) 北里研究所病院臨床環境医学センター

11:10-12:00 特別講演 I

胎児の複合汚染とその対策

— 次世代環境健康学プロジェクトと人材養成 —

森 千里

千葉大学大学院医学研究院環境生命医学

司会 高後 裕（旭川医科大学内科学第三講座）

12:00-13:00 休憩

13:00-13:30 総会

13:30-14:20 特別講演 II

子どもの精神発達と環境

山崎 晃資

東海大学教育研究所、東海大学付属相模中学校・高等学校

司会 吉田 貴彦（旭川医科大学医学部健康科学講座）

14:20-16:00 シンポジウム 「子供と環境」

座長 相澤好治 (北里大学医学部衛生学公衆衛生学教室)
香山不二雄 (自治医科大学地域医療学センター環境医学部門)

- S-1 小児の脳障害に対する DNA 損傷の評価法
山内 博 (聖マリアンナ医科大学予防医学教室)
- S-2 子どものからだつきと環境
伊藤善也 (旭川医科大学医学部小児科学講座)
- S-3 子供のシックハウス症候群
角田和彦 (坂総合病院小児科)
- S-4 環境要因による小児の免疫系に対する影響
吉田貴彦 (旭川医科大学医学部健康科学講座)

16:00-16:50 一般演題 1

座長 北條祥子 (尚綱学院大学生生活創造学科)

- 1-1 電磁波による健康被害と対策 (その1)
ー電磁波による健康被害のアンケート調査とその結果ー
○加藤やすこ¹⁾、出村守²⁾、高野ひとみ³⁾、土岐敏央⁴⁾、
1) VOC-電磁波対策研究会、2) 札幌でむら小児クリニック、3) タカノ環境建築設計室、
4) 土岐株式会社
- 1-2 電磁波による健康被害と対策 (その2)
ー転居・リフォームによる化学物質過敏症と電磁波過敏症の改善例ー
○土岐敏央¹⁾、高野ひとみ²⁾、加藤やすこ³⁾
1) 土岐株式会社、2) タカノ環境建築設計室、3) VOC-電磁波対策研究会
- 1-3 電磁波による健康被害と対策 (その3)
ー電磁波対策を施した新築住宅における ES・CS の改善効果ー
○高野ひとみ¹⁾、加藤やすこ²⁾、土岐敏央³⁾
1) タカノ環境建築設計室、2) VOC-電磁波対策研究会、3) 土岐株式会社
- 1-4 中学生における長期欠席者と父親の存在との関連性について
○逢坂文夫¹⁾、池見好昭²⁾、相川浩幸¹⁾、永倉貢一³⁾、木ノ上高章¹⁾
1) 東海大学医学部基盤診療学系、2) 横浜市衛生研究所、3) 東海大学医学部基礎医学系
- 1-5 1975 年ころから進行している“死産性比”の異変
○正木健雄¹⁾、上野純子²⁾、坂本玄子³⁾、小川貴志子⁴⁾、野井真吾⁵⁾
1) 日本体育大学、2) 日本体育大学健康管理学、3) 聖マリアンヌ医科大学看護専門学校、
4) ボストン大学医学部ボストン医学センター、5) 東京理科大学理工学部

16:50-18:10 ワークショップ 2

16:50-17:30 座長 木村 穰 (東海大学医学部基礎医学系)

W2-1 有機リン曝露後に発症し、重心動揺検査 (electrogravitography : EGG) が経過観察に有用であった化学物質過敏症 (Chemical Sensitivity : CS) の2例
○河口友香¹⁾、横沢册子¹⁾、西中川秀太¹⁾、吉田友彦¹⁾、永田直一¹⁾、石川哲²⁾
1) 東京労災病院環境医学研究センター、2) 北里研究所病院

W2-2 臨床環境医学センター受診患者における重心動揺検査の有効性について
○松井孝子¹⁾、佐々木恵子²⁾、安岡友子²⁾、尾島正幸^{1, 3)}、遠乗秀樹³⁾、坂部 貢¹⁾、相澤好治³⁾、宮田幹夫¹⁾、石川 哲¹⁾
1) 北里研究所病院臨床環境医学センター、2) 北里研究所病院看護部、3) 北里大学医学部衛生学公衆衛生学

W2-3 シックハウス症候群の診断における眼球運動検査および重心動揺検査の有用性について
○松井孝子¹⁾、坂部 貢¹⁾、宮田幹夫¹⁾、山田高也²⁾、田中舘明博³⁾、榊原七重⁴⁾
1) 北里研究所病院臨床環境医学センター、2) 北里研究所病院研究部、3) 北里大学医療衛生学部医療工学科臨床工学専攻、4) 神奈川歯科大学眼科学

W2-4 MCS およびシックハウス症候群患者用問診票の開発 (その1)
QEESI の問診票としての信頼性と妥当性の検討
○北條祥子¹⁾、熊野宏昭²⁾、吉野 博³⁾、角田和彦⁴⁾、石川 哲⁵⁾
1) 尚絅学院大学生生活創造学科、2) 東京大学大学院医学研究科、3) 東北大学大学院工学研究科、4) 坂総合病院小児科、5) 北里研究所病院臨床環境医学センター

17:30-18:10 座長 坂部 貢 (北里研究所病院・臨床環境医学センター)

W2-5 有機リン系殺虫剤空中散布後のQT延長とST変化、心拍変動異常
○平 久美子¹⁾、青山 美子²⁾、川真田 美和子¹⁾
1) 東京女子医科大学附属第二病院麻酔科、2) 青山内科小児科医院

W2-6 解剖実習後における眼循環動態の検討
○小山 誠¹⁾、長岡泰司、佐藤栄一、吉田晃敏
旭川医科大学眼科学講座

W2-7 シックハウス症候群と疾患感受性遺伝子
-Neuropathy Target Esterase (NTE) 遺伝子多型解析とシックハウス症候群-
○松坂恭成¹⁾、菊池イアーラ幸江¹⁾、水谷晃子¹⁾、猪子英俊¹⁾、坂部貢²⁾、青山美子²⁾、角田和彦³⁾、石川哲²⁾、木村穰¹⁾
1) 東海大学医学部基礎医学系、2) 北里研究所病院臨床環境医学センター、3) 坂総合病院小児科

W2-8 ホルムアルデヒド曝露によるマウス海馬・嗅球での遺伝子発現に及ぼす影響
○小島弘幸¹⁾、伊藤俊弘²⁾、中木良彦²⁾、安住 薫³⁾、武内伸治¹⁾、小林 智¹⁾、神 和夫¹⁾、吉田貴彦²⁾
1) 北海道立衛生研究所、2) 旭川医科大学健康科学講座、3) 北海道大学・創成科学研究機構

18:30-20:30 懇親会 旭川グランドホテル2F 「孔雀の間」

第2日 7月3日(金)

9:10-10:00 一般演題 2

座長 飯塚 一 (旭川医科大学医学部皮膚科学講座)

- 2-1 歯周疾患に及ぼす喫煙の影響
一カドミウムとリポ多糖による成人歯肉および歯根膜由来線維芽細胞からの炎症性サイトカインとプロスタグランジンE₂の放出一
○佐藤 勉¹⁾、田中とも子¹⁾、北田加代美¹⁾、清水紀博¹⁾、香山不二雄²⁾
1) 日本歯科大学歯学部衛生学講座、2) 自治医科大学保健科学講座
- 2-2 珪肺症症例での抗 Fas 自己抗体の検出と機能解析
○大槻剛巳¹⁾、高田晶子¹⁾、三浦由恵¹⁾、兵藤文則¹⁾、勝山博信²⁾、草加勝康³⁾、植木絢子⁴⁾
1) 川崎医科大学衛生学、2) 川崎医科大学公衆衛生学、3) 草加病院内科、
4) 川崎医療福祉大学医療福祉学部医療福祉環境デザイン学科
- 2-3 環境化学物質の破骨細胞への影響 一内分泌攪乱化学物質を中心として一
○川上智史¹⁾、池田真紀¹⁾、門脇武博¹⁾、相澤好治¹⁾、坂部 貢¹⁾²⁾
1) 北里大学大学院医療系研究科、2) 北里研究所病院・臨床環境医学
- 2-4 室内空気中化学物質によるホルモン受容体を介した内分泌攪乱作用
○武内伸治、小島弘幸、小林 智、神 和夫
北海道立衛生研究所
- 2-5 中国河北省遼寧省における母乳中難分解性汚染物質濃度と食事との関係
○孫 素菊¹⁾、趙 建宏⁵⁾、金 一和²⁾、古賀 実³⁾、国末達也⁴⁾、田辺信介⁴⁾、香山不二雄⁵⁾
1) 河北医科大学、2) 中国医科大学、3) 熊本県立大学環境共生学部、
4) 愛媛大学海洋環境研究センター、5) 自治医科大学地域医療学センター環境医学部門

10:00-10:50 一般演題 3

座長 石竹達也 (久留米大学医学部環境医学講座)

- 3-1 8-hydroxy-2-deoxyguanosine と porphyrin を用いた有酸素運動の生体影響評価
○網中雅仁¹⁾、山内 博¹⁾、渡辺尚彦²⁾、吉田勝美¹⁾
1) 聖マリアンナ医科大学予防医学、2) 早稲田大学スポーツ科学部スポーツ医科学
- 3-2 肺血管内皮障害に対するエダラボンの保護作用およびその機序
○塩野 薫¹⁾、鈴木幸男^{2,3)}、竹内 修³⁾、戸田京子³⁾、山田高也³⁾、竹下 啓²⁾、今井康人¹⁾、
陳 紫玉¹⁾、鈴木達夫³⁾、土本寛二^{1,4)}
1) 北里大学薬学部臨床薬学研究センター病態解析部門、2) 北里研究所病院呼吸器科、
3) 北里研究所病院研究部、4) 北里研究所病院内科
- 3-3 作動記憶課題における自律神経機能および脳波の活動性
○梅野克身^{1,4)}、安井宏¹⁾、高本孝一¹⁾、麻野井英次²⁾、鏡森定信³⁾、笠島茂⁵⁾、堀悦郎^{1,4)}、
田淵英一^{1,4)}、小野武年^{1,4)}、西条寿夫^{1,4)}
1) 富山医科薬科大学システム情動科学、2) 富山医科薬科大学第二内科学、
3) 富山医科薬科大学保健医学、4) CREST, JST、5) 国立保健科学医療院公衆衛生政策部

3-4 食物の電子レンジ処理による食物アレルギーの治療の可能性について
○河野 泉
千葉県勤労者医療協会市川市民診療所

3-5 微量芳香剤の生体への影響
○田川晋一¹⁾、辻 好美²⁾、宇城正和³⁾
1) 玉川大学、2) AEHF-Japan、3) アセイティ生命科学研究所

10:50-12:10 ワークショップ 3

10:50-11:30 座長 内山 (京都大学大学院工学研究科???)

W3-1 呼気分析による環境中 VOC 類への曝露評価
○水越厚史¹⁾、熊谷一清¹⁾、篠原直秀²⁾、藤井実³⁾、柳沢幸雄¹⁾
1) 東京大学、2) 産業技術総合研究所、3) 国立環境研究所

W3-2 住宅の内装仕様と室内空気質環境
○吉田 弥明
静岡大学農学部

W3-3 活性炭フィルタによる事務所ビル空気質の改善効果
○加藤 陽一、湯 懷鵬、田島 和也
新菱冷熱工業株式会社

W3-4 化学物質除去用吸着剤の物性及び除去能力
○田島 和也、湯 懷鵬、加藤 陽一
新菱冷熱工業株式会社

11:30-12:10 座長 柳沢幸雄 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)

W3-5 活性炭フィルタの再生方法に関する実験研究
○湯 懷鵬、田島和也、加藤陽一、木村文夫
新菱冷熱工業株式会社

W3-6 旭川市における室内空気質に関する相談及び測定依頼件数の推移について
○上林宏次、藤田由美、山本東美、芝生俊明、相田一郎
旭川市保健所

W3-7 化学物質過敏症転地療養施設の建設と室内空気質
○小林徳和¹⁾、長 泰則¹⁾、湯 懷鵬²⁾
1) (株)新菱エコビジネス、2) 新菱冷熱工業(株)

W3-8 一時転地療養施設「塙ケアハウス (仮称)」の建設
○辻 好美¹⁾、田中穂積²⁾、吉田彌明³⁾
1) サマリア建築設計、2) AEHF ジャパン、3) 静岡大学

12:10 閉会の辞 石竹達也 (久留米大学医学部環境医学講座)

公開シンポジウム

「化学物質過敏症一時転地住宅の成果と課題」

- 主催 化学物質過敏症一時転地療養共同研究グループ
- 後援 第13回に本臨床環境医学会
- 時間 13:00-15:00
- 場所 旭川市民文化会館小ホール
- 司会 柳沢幸雄（東京大学大学院新領域創成科学研究科）
吉田貴彦（旭川医科大学医学部健康科学講座）